

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	19116-1	事業名	生徒指導充実事業	部名	教育委員会事務局
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興			室名	教育研究室
	基本施策	01:子どもたちの学びと健全育成			財	会計 一般会計
	施策の方向	06:すべての子どもの学びを支える教育の推進			務	款 教育費
	戦略プロジェクト				科	項 教育研究費
				目	目 教育研究費	

② 目的・概要	対象	亀山市内小中学校児童生徒
	目的・概要	複雑化・多様化し対応・解決がいつそう困難な生徒指導事例に対して、個々の児童生徒の実態把握やいじめ、その他の問題行動の予防と対策を行う。 対応の難しい事例に対して、法的心理的な専門家による検討委員会を開催し、事案発生時に適切な対応ができるようにする。

			24年度	25年度	26年度	
③ 指標	活動	① 名称	亀山市学校問題調査検討委員会の開催	計画値		
		補足	保護者対応など、対応困難な事例に対して、適切に解決するための検討会議を開催する。	実績値	3	3
		単位		回	回	回
	②	名称	学校満足度調査(QU)の実施	計画値		
		補足	いじめの未然防止、居心地のよい学級づくりのために児童生徒の実態把握を行う	実績値	2	2
		単位		回	回	1~2回
成果	①	名称	平成26年度生徒指導・問題行動導報告件数	計画値		
		補足	平成26年度中発生した市内小中学校における生徒指導・問題行動の報告件数	実績値	121	90
		単位		件	件	件

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績					<ul style="list-style-type: none"> 学校問題調査検討委員会の開催(3回) 学校満足度調査(QU)の実施(市内の小学3年生~中学3年生全員)単学級1回・その他2回 適応指導教室実施のカウンセリング 生徒指導対応における生徒指導携帯電話の活用 			
			計画額	予算額	決算額	総人件費 ①		740
	事業費			2,363	2,217	一般職員人件費 ②	740	平均給与額×③
	国庫支出金					所要人員 ③	0.10	
	県支出金					臨時職員人件費 ④		
	地方債					受益者負担額 ⑤	0	
	その他					受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
	一般財源			2,363	2,217			
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
			①	740				
			⑥	2,957				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	<ul style="list-style-type: none"> いじめの認知件数は減少しており、カウンセリングやQUを活用することで、いじめにつながる事案の早期発見・対応につながった。 学校問題調査検討委員会の協議結果が学校現場での対応にも生かされた。 各校からの生徒指導の報告が迅速適正に行われるようになり、他機関との連携もスムーズにできた。 	総合判定
			A 順調に進んだ

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】	<ul style="list-style-type: none"> 暴力行為の発生件数が増加し、生徒間暴力や対教師暴力の件数が増加している。教室に入ることが難しい生徒も増加傾向にあり、一人ひとりの生徒の背景を理解した上で丁寧な対応が必要である。 近隣市の学校との生徒の関連がみられ、各校や市教委間で連絡を取り合いながら、関係機関と連携した対応が必要である。
	【改善の方向性】	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、これまで以上に、居心地のよい学級づくりによる暴力行為・いじめ・不登校の未然防止と、学校満足度調査の活用の研修会等を継続的に行っていく。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 教育研究室長 伊達 弘
--------------	---------	----------------------